

補 足 資 料 6

平 成 16 年 度 改 定 の 概 要

技術手法は、知見の進展に伴い見直すこととされており、「自動車の走行に係る騒音」については、平成12年10月の策定後、次の知見を得ることができたため、このたび、改定を行った。

- ・ 日本音響学会道路交通騒音予測モデル“ASJ RTN-Model 2003”（平成16年4月）

<主な改定内容>

- ・ 予測の基本的な手法を“ASJ RTN-Model 2003”としたこと。

<実務での主な変更事項>

- ①排水性舗装における騒音低減効果の経年変化について、車種別／道路の種類別に補正量を与えたこと。
- ②二層式排水性舗装について、新たに記述したこと。
- ③先端分岐型遮音壁等（日本道路公団採用）について、標準予測手法で予測可能としたこと。
- ④予測の重点化手法に関して、最新の知見を取り入れたこと。

